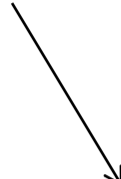


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	院内感染対策	事業開始年度	平成5年度	作成責任者		
担当部局庁	医政局	担当課室	指導課	指導課長 新村		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	院内感染対策事業実施要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)、VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)及びノロウイルスをはじめとした各種の病原体に起因する院内感染の発生や、医療技術の高度化による感染症に対する抵抗力が比較的低い患者の増加などから、医療機関においては、最新の科学的知見に基づいた適切な院内感染対策の実施が求められているため、院内感染にかかる最新の情報提供や、院内感染対策に関する講習会の実施により、最新の科学的知見に基づいた適切な知識を伝達することで、わが国における院内感染対策をより一層推進することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○院内感染の発生動向の調査及び情報提供の実施</p> <p>○以下の講習会の実施にかかる業務委託等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会の実施 ・上記医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会の実施 ・高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会の実施 					
実施状況	院内感染対策講習会受講者数 19年度：2,002人 20年度：1,840人 21年度：1,938人					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	53	54	63	68	69
	執行額	53	43	61		
	執行率	100.00%	79.63%	96.83%		
	総事業費(執行ベース)	53	32	25		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業終了後、補助事業者から提出された実績報告書に基づき、全ての経費について、支出先、用途をチェックしている。したがって、事業目的の実現や効果の観点からの検討は行われている。				
	見直しの余地	結核、新型インフルエンザ等の新興・再興感染症や抗菌薬の効かない耐性菌等そのときどきに流行している感染症に適切に対応していくため、院内感染に係る情報提供体制や講習会の内容の充実を図る必要がある。				
予算チームの監視・所見率化	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省
61百万円



【国立感染症研究所にて執行】

A. 国立感染症研究所
26百万円

【企画競争・委託】

B. 社団法人日本感染症
学会
21百万円

その他事務経費
14百万円

【院内感染の発生動向の調査・情報提

【医療従事者の院内感染対策に
関する知識を深めるため講習会
を実施】

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 国立感染症研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	データの集計・解析作業にかかる経費	15			
備品費	システム機器、端末等購入費	10			
消耗品費	事務用品代	1			
計		26	計		0
B. 社団法人日本感染症学会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	講師謝金	8			
旅費	講師旅費・宿泊費等	2			
賃金	講習会アルバイト賃金	2			
印刷製本費	テキスト・資料・受講証書印刷費	3			
賃借料	会場代	5			
消耗品費	事務用品代	1			
計		21	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0